

校訓

誠実・博愛・明朗・勤労



沖縄県立南部農林高等学校PTA新聞

緑の風

第113号
南部農林高等学校PTA
発行責任者
PTA会長 金城佳久
編集
PTA広報委員会
TEL.098-850-6006
南風原印刷

新年度に向けて



沖縄県立
南部農林高等学校
校長 中村 幸弘

令和8年度を迎えるにあたり、南部農林高等学校PTA会員の皆様におかれましては、お子様の成長と日々の生活に慌ただしい毎日をお過ごしのことと存じます。今年度も本校教育の推進にあたりご理解とご協力をお願いいたします。

さて、南部農林高校の校長として2年目を迎え、新年度に向けた学校経営方針について述べさせていただきます。昨年度の本校の状況(成果と課題)を振り返り、私は4月に全職員に今年度の学校経営ビジョンを示し、最初に「本校のありたい姿」について共有を図りました。地域や保護者からは「入学させたい学校」「へ、生徒からは「入学して良かった」と思ってもらえる学校にしたい、そのためには本校の強みを活かした「柱」を立てる必要があり、その柱を「南農生ができる持続可能な社会(地域)貢献活動」としました。日頃の授業や実習だけでなく、常にその柱を意識しながら全ての学校生活

を実践していくことで生徒達に①「学び」の意義の理解に繋げる②交流・協働・指導体験を実践することで自己肯定感を高める③他者から感謝される「体験」を積み重ねることを目指していきます。この3つのポイントを経験させることで生徒達の自己有用感等が向上すると考えます。先生方には各自の授業や学校行事において柱を意識した実践(できること、やれること)を求める一方、「焦らず、急がず、長いスパン」で生徒と教職員で共に新しい南農を創っていくと話しています。

新年度発足に向け、PTA評議委員会の開催

去る5月7日に評議委員会が開催され、令和8年度定期総会での提出議案の審議と各委員会の発足が行われました。各クラス代表の評議員や職員の代表30余名がご参加され、議案審議と各委員会にわかれ、今年度の活動計画等について、話し合いが行われました。



朝のあいさつで清々しい一日の始まり PTA指導委員会

PTA指導委員会では、10数年前から継続して毎月第3水曜朝8時30分より指導委員会の保護者を中心に本校生徒会執行部の皆さん、校長先生、教頭先生はじめ、先生方体育館の前で登校する生徒たちに「おはようございます」と朝の挨拶をしています。登校する生徒たちも緊張気味でしたがあいさつを元気に返してくれ、とても気持ちのいい時間を過ごせました。

今後も毎月第3水曜朝8時15分から8時40分ごろまで実施していますので、ご参加ください。



5月20日
実施

令和8年度PTA定期総会
授業参観の開催

5月19日(日)に本年度授業参観と令和8年度定期総会が開催されました。あいにくの雨模様の中でしたが、授業参観には朝早くから約100名近くの保護者の皆様が普通教室をはじめ、各学科棟で行われている授業をご参観されました。また、午後からは定期総会が本校体育館で行われ、令和7年度の決算と会計監査、令和8年度の事業計画、予算(案)新役員等の議案が、慎重審議により承認されました。また本校PTA活動の活性化の功労者として、前会長安谷屋則子様、前副会長中本和久様が表彰されました。

総会終了後には、各学科に分かれての学科PTA、進路指導部主催による奨学金説明会が開催され、多くの保護者が熱心に聞いておられました。令和8年度PTA活動等へのご参加をお願いいたします。



「定期総会の様子」



「事務局長(教頭)による議案説明」



「学科PTAの様子」



「PTA功労者表彰 安谷屋 前会長」



「令和8年度 新役員の皆様」



「進路部による奨学金説明会」



「廊下から授業参観」



ココからアクセス!!

各学科の活動報告などホットな情報を紹介しています。
〈南部農林高等学校ホームページ〉<http://nanbu-ah.open.ed.jp>

赴任者

国語科 … 儀間夏子
 地歴公民科 … 東若世樹
 数学科 … 川邊美紀
 保健科 … 嘉手納太 石原亜梨沙 金城正勝
 英語科 … 永吉隆洋 伊佐良真
 美術科 … 屋比久瑞希
 食料生産科 … 與那原琢 新垣博之 知念豊忠
 生物資源科 … 山城源紀
 食品加工科 … 古波あやか 大城健輔
 生活デザイン科 … 親川絵美里 嶺井千裕 中村春菜 仲宗根夢乃
 事務部 … 仲本玲奈
 用務 … 金城勝也
 就学支援金 … 下門めぐみ
 就職支援員 … 羽地絢香
 特支支援員 … 吉田一正 座安たか子 若葉支援員 宮城由香利

新任職員紹介

「チーム南農」の一員として
頑張ります!

今年度は、新たに26名の職員の赴任がありました。学校長の学校経営方針のもと、全職員体制で生徒の夢の実現に向けて取り組みます。



新入生歓迎球技大会

～新入生を迎え、これから充実した学校生活にしよう～

5月1日(金)に「大会運営やクラス対抗競技などの集団活動を通して、所属感や連帯感を高めると共に、学科・学年を超えた生徒間の親睦を深めること」などを目的として、生徒会主催による新入生歓迎球技大会が実施されました。本大会では、体育館で9人制バレーボール、運動場15人制ドッジボールが行われ、クラス全員が選手として、出場し、楽しい球技大会となりました。運営にあたった、生徒会執行部と各クラスHR長等の熱心な取り組みで充実した大会となりました。



「専門高校はじめての一步」

～自己理解・他者理解で仲間づくり～

本校では、新入生(南部地区等中学43校)の多くが入学後、不安の中で学校生活を過ごすことから、生徒同士のコミュニケーションを深め、目標をもって高校生活が過ごせる事を目的とした授業プログラムを実施しています。専門キャリアコンサルタントや本校先生方が自己理解や他者理解の活動のプログラムに沿って進めます。無理せず自分のペースを大事にした、生徒同士の交流を中心としています(本プログラムは、11月まで計7回実施予定)。

生徒達の様子を見ていると、本活動で互いに打ち解け、笑顔がおおくなり、会話も弾んでいるように感じます。



校内・校外平和学習の開催

～生徒が主体的に考える平和学習～

本校では戦争を「知る」だけでなく「伝える」、「現在・未来に向けて考えを構築する」平和学習を目標として、毎年、校外・校内平和学習会を実施しています。6月30日に行われた校外学習では、各クラス図書委員、生徒会役員計24名が首里高校内にある養秀会館を訪問し、テーマ「学徒隊・学徒動員について」と題して、一中健児之塔・防空壕・資料展示室の見学や講話「手紙を読んでみよう」など学習会に参加しました。参加者の感想では、「私達と同年齢の学徒隊の方が手紙で綴る家族への想いなど、改めて戦争の酷さや平和のありがたさを感じた」など、平和について考える貴重な機会となりました。

7月10日の校内平和学習では、今回の校外学習の報告と琉球大学非常勤講師の太田 光様を迎え、演題「学徒隊鉄血勤皇隊・通信隊について」が行われる予定となっています。



生物資源科 学科PTAの開催

5月30日(土)に保護者対象に学科PTAを開催しました。

今年度の研修内容は①集卵・洗卵②ランの手入れ方法を行いました。ほかに施設見学や生徒の研究発表会も行い、充実した時間を過ごしました。



集卵・洗卵体験



生徒の研究発表会



ランの手入れ



祝 第79回入学式の挙行

入学おめでとう

4月7日火曜日に本校体育館において第79回入学式が挙行されました。入学式には、多くのご来賓や保護者の方々がご臨席くださり、厳粛な中にも暖かい雰囲気の中、おこなわれました。

入学式191名の皆さんは、緊張した表情の中にも、これからはじまる本校での高校生活への期待に胸を膨らませ、入学生が出席しました。

式の中では、校長中村幸弘先生が高校生活で大切にしたい3つのこととして、「1 自ら成長する姿勢 2 信頼関係の構築 3 自律した生活」について述べ、農業教育を通じて知識・技術を学び、積極的に挑戦することで将来の進路につなげてほしいと式辞を述べられました。

保護者を代表して、PTA会長の安谷屋則子様が、学校生活で実習や仲間との協力などを通して成長する3年間の大切さと、我が子が南部農林高校での学校生活で自信をもち成長した経験をもとに、学校が生徒の可能性を広げる場であることを述べられました。そして今後のPTA活動へのご理解とご協力へのお願いと、生徒が夢に向かって成長してほしいことを期待したいと祝辞を述べられました。

新入生代表あいさつでは、食品加工科 日野心春さんが入学の誓いとして、これから始まる高校生活への期待を述べておりました。また、在校生代表あいさつとして、生活デザイン科3年備瀬柚月さんが、高校生活の



楽しさや資格取得への挑戦、農業高校の魅力などを紹介し、歓迎のあいさつをおこないました。入学式終了後は、各教室へ移動し、担任の先生をはじめ、学科の先生方から、これから始まる高校生活では、それぞれの目標に向かって頑張つてほしいなど、歓迎を受けました。



式辞 校長 中村幸弘先生



PTA会長代読 金城佳久様



在校生代表 備瀬柚月さん



新入生代表挨拶



新入生代表 食品加工科 日野心春

新緑を輝かせる恵みの雨の中、本日は、私達のためにこのような素晴らしい式を挙行してくださり、心より感謝申し上げます。高校生になるということに喜びと同時に不安と緊張を感じています。

高校入試は、私にとっても他の新入生のみならずにとっても大きなチャレンジだったと思います。私自身、「今日の実力次第で人生が変わってしまうんだ」と試験の時の記憶が曖昧になってしまふほど、不安や緊張で頭がいっぱいでした。合格発表の日、ホームページで自分の番号を見つけた時は、本当に嬉しくて、安心したことを今でもはつきり覚えていています。

私が本校に入学した目的は、苦しいことに少しずつ挑戦し、多くの経験を積みながら夢を実現することです。私は、人とコミュニケーションを取ることで運動することなど、苦しいことでもあります。食に関する職業に就くことや、さまざまな資格を取得することなど、実現したい夢もたくさんあります。

そのため、本校の食品加工科で高校生のうちから食に関する知識や技術を身につけたいと考えています。スモークチキン製造実

習などを通して多くの経験を積み、HACCPなどの専門的な資格や検定の取得にも挑戦したいです。

さらに、農業祭や南農市などの行事に積極的に参加し、仲間と協力したり地域の方々と交流したりすることで、コミュニケーション能力や接客力を身につけていきたいです。できれば、英語同好会に入会して英語力も上げていきたいです。

今ここにいる私たちは、それぞれ目的や目標、考え方が異なると思います。しかし、ここで巡り会えたことは本当に「奇跡」だと感じています。これからは一人ひとりがお互いを尊重し、協力し合いながら学校生活を築いていきましょう。そして、先輩方の背中を見ながら、共に成長していきたいと思っています。

私たちが今、この場に立つことができてるのは、家族をはじめ、友人や先生方など、多くの方々の支えがあったからです。心から感謝しています。

まだまだ子どもで未熟な私達ですが、「稲とペン」とにも魂も鍛え強くなりたい」という校歌の歌詞のように、勉強も実習も仲間と共に楽しみながら経験を積んでいき、伝統ある南部農林高等学校の一員として、責任ある行動を心がけていきます。

校長先生をはじめ、先生方、先輩方、保護者のみなさま、どうかこれからも温かいご指導をよろしくお願いいたします。

以上で新入生代表挨拶とさせていただきます。